学会·研究会での講演 (国内)

1. 松永 浩之：CDF Run2 の現状および展望 (１),
   第 8 回東大素粒子物理国際センターシンポジウム (2002 年 2 月 17–20 日), 長野県白馬村.

2. 鈴木 隆史：CDF Run2 の現状および展望 (２) ,
   第 8 回東大素粒子物理国際センターシンポジウム (2002 年 2 月 17–20 日), 長野県白馬村.

3. 原 和彦：CDF Run2 の現状と将来の展望,
   コライダー研究会 (2002 年 2 月 25-27 日), KEK.

4. 受川 史彦：B Physics at CDF ,
   コライダー研究会 (2002 年 2 月 25-27 日), KEK.

5. 金子 寛：CDF II 実験, TOF 測定器に用いるファインメッシュ型光電子増倍管の性能評価 IV,
   日本物理学会 (2002 年 3 月 24 日), 立命館大学.

6. 武居 康徳：CDF 実験用高放射線耐性シリコン飛跡検出器の研究,
   日本物理学会 (2002 年 3 月 24 日), 立命館大学.

7. 土屋 亮：トップクォーク対生成における 2 レプトン過程の DLM による再構成,
   日本物理学会 (2002 年 3 月 25 日), 立命館大学.

8. 寄田 浩平：トップクォーク対生成におけるレプトン + 4 ジェット過程の DLM による再構成,
   日本物理学会 (2002 年 3 月 25 日), 立命館大学.

9. 松永 浩之：CDF Run II におけるデータ・ロガの開発,
   日本物理学会 (2002 年 3 月 26 日), 立命館大学.

10. 下島 真：マルチキャストを用いた効率的なデータ配送,
    日本物理学会 (2002 年 3 月 26 日), 立命館大学.

11. 受川 史彦：Recent Status of Tevatron CDF,
    第４１回 RHIC–SPIN-J Physics Discussion (2002 年 6 月 18 日), 理化学研究所.

12. 受川 史彦：CDF は走ってます！,
    実験・観測にもとづく素粒子統一描像の構築 (2002 年 8 月 21 日), 京都大学基礎物理学研究所.

13. 田中 礼三郎：これから 10 年の Top Higgs の物理,
    実験・観測にもとづく素粒子統一描像の構築 (2002 年 8 月 21 日), 京都大学基礎物理学研究所.

14. 岩田 洋世：CDF II での荷電ヒグス粒子探索の可能性,
    日本物理学会 (2002 年 9 月 14 日), 立教大学.

15. 井門 孝治：CDF Run II における Drell-Yan 過程を用いた新粒子探索,
日本物理学会（2002 年 9 月 14 日），立教大学.

16. 日下部 義明：DLM による $W + 2$ jet channel における Technicolor 粒子の探索法,
日本物理学会（2002 年 9 月 14 日），立教大学.

17. 永野間 淳二：DLM による 4 jet channel における Technicolor 粒子の探索法,
日本物理学会（2002 年 9 月 14 日），立教大学.

18. 土屋 亮：トップクォーク対生成 2 レプトン過程におけるカイラル相互作用の探索法,
日本物理学会（2002 年 9 月 14 日），立教大学.

19. 武居 康徳：CDF 実験用高耐放射性シリコン飛跡検出器の研究 II,
日本物理学会（2002 年 9 月 16 日），立教大学.

20. 武内 勇司：CDF Run IIa 実験におけるシリコン飛跡検出器の稼働状況,
日本物理学会（2002 年 9 月 16 日），立教大学.

21. 金 信弘：CDF 実験の現状と将来,
物理学セミナー（2002 年 11 月 22 日），大阪市立大学.

22. 岩田 洋世：CDF でのヒグス探索,
広島ヒグス研究会（2003 年 1 月 14–15 日），広島大学.

23. 山本 和弘：Search for bosophilic Higgs boson at CDF,
広島ヒグス研究会（2003 年 1 月 14–15 日），広島大学.

24. 宮崎 由之：CDF RUN II τ トリガー,
広島ヒグス研究会（2003 年 1 月 14–15 日），広島大学.

25. 近藤 都登：DLM のすすめ,
広島ヒグス研究会（2003 年 1 月 14–15 日），広島大学.

26. 井門 孝治：Charged Higgs search and $t\bar{t}$ production in lepton + τ channel,
広島ヒグス研究会（2003 年 1 月 14–15 日），広島大学.

27. 金 信弘：CDF 実験の現状と将来,
物理学教室談話会（2003 年 1 月 17 日），名古屋大学.

28. 金 信弘：CDF 実験の現状と将来,
物理学セミナー（2003 年 1 月 22 日），新潟大学.

29. 松永 浩之：CDF 実験の現状,
第 9 回東大素粒子物理国際センターシンポジウム（2003 年 2 月 19–22 日），長野県白馬村.

30. 山本 和弘 “Present status and recent results of Tevatron Run II”，
KEK Theory Meeting on Collider Physics, KEK, Tsukuba, Japan, February 20–22, 2003.

31. 受川 史彦：Tevatron CDF 実験の現状，
物理学第二教室談話会（2003 年 2 月 27 日），京都大学．

32. 原 和彦：CDF 実験の検出器開発と電弱物理の最新結果,
科研費特定領域研究会「質量起源と超対称性物理の研究」(2003 年 3 月 4–5 日)，筑波大学.

33. 松永 浩之：CDF 実験の最新結果 - 新粒子探索とトップ物理,
科研費特定領域研究会「質量起源と超対称性物理の研究」(2003 年 3 月 4–5 日)，筑波大学.

34. 松永 浩之：Tevatron accelarator and CDF detector,
基研研究会「素粒子高エネルギーフロンティアでの物理」(2003 年 3 月 17–18 日)，京都大学基礎物理学研究所.

35. 山本 和弘：Higgs searches at Tevarton,
基研研究会「素粒子高エネルギーフロンティアでの物理」(2003 年 3 月 17–18 日)，京都大学基礎物理学研究所.

36. 受川 史彦：B physics and Heavy Quark Production at Tevatron,
基研研究会「素粒子高エネルギーフロンティアでの物理」(2003 年 3 月 17–18 日)，京都大学基礎物理学研究所.

37. 井門 孝治：New Particle Search at CDF,
基研研究会「素粒子高エネルギーフロンティアでの物理」(2003 年 3 月 17–18 日)，京都大学基礎物理学研究所.

38. 武内 勇司：Top and EW phsycis at hadron collider,
基研研究会「素粒子高エネルギーフロンティアでの物理」(2003 年 3 月 17–18 日)，京都大学基礎物理学研究所.

39. 高野 秀明：CDF-RUNI 実験における W ボソン対生成事象の探索,
日本物理学会（2003 年 3 月 28 日），東北学院大学.

40. 加藤 幸弘：CDF Run II 実験の現状報告 1,
日本物理学会（2003 年 3 月 29 日），東北学院大学.

41. 武内 勇司：CDF Run II 実験の現状報告 2,
日本物理学会（2003 年 3 月 29 日），東北学院大学.

42. 小林 健一：CDF RUN IIb SVX のためのフラットケーブルの製作,
日本物理学会（2003 年 3 月 29 日），東北学院大学.

43. 井門 孝治：lepton + tau モードでのトップ・クォーク対生成と荷電ヒッグス粒子探索,
日本物理学会（2003 年 3 月 30 日），東北学院大学.

44. 寄田 浩平：トップクオーク事象，レプトン + 4 ジェットチャンネルの解析,
日本物理学会（2003 年 3 月 30 日），東北学院大学.

国際会議での講演

1. Fumihiko Ukegawa, “QCD Results from CDF”,
   Current and Future Directions at RHIC, RIKEN BNL Research Center, BNL, Upton, NY, USA, August 5–23, 2002.

2. Kazuhiro Yamamoto, “Present Status of Tevatron Physics & Prospect with Higher Luminosity”,
   International Workshop: Recent Progess in Induction Accelerators (RPIA2002), KEK, Tsukuba, Japan, October 29–31, 2002.

3. Yuji Takeuchi, “Status and Prospects on Top Physics at CDF”,
   APPI 2003: Accelerator and Particle Physics Institute, Iwate, Japan, February 25–28, 2003.